

## 千葉大学感染症情報 2013-2014 シーズン 第2報

### 【結核】

#### 2週間以上咳が続く場合には、検査を受けましょう！

結核を知ることが予防への第一歩。早期発見・早期治療は本人の重症化を防ぐためだけでなく、大切な家族や職場等への感染の拡大を防ぐためにも重要です。

詳しく知りたい方はこちら（結核予防会HP）

→



以下のような場合には、各地区保健室へご連絡・お訪ねください。

1) 2週間以上咳・痰・微熱などが続く。

2) 身近な人が結核と診断されたので、自分も感染していないか心配である。

本学の学生・教職員の皆さんは、西千葉保健管理棟で医師（日本結核病学会結核・抗酸菌症認定医）に相談することができます。必要に応じて、胸部レントゲン検査を行うことも可能です。

### 【感染性胃腸炎】

#### 手洗いを十分に行いましょう！汚物処理は次亜塩素酸で！

千葉市では、先週より増加しました。過去10年の同時期と比べるとやや少なめです。中央区で流行発生警報開始基準値を上回り最多となっており、同区の2歳で最も多く発生しています。



### 【風しん】

#### MRワクチンを高3で打っていない方は追加接種を！

今年の夏に流行した風しんですが、だらだらと患者発生があり、千葉市では第49週は発生届が2件ありました。前週から連続して発生しています。第49週現在の累積発生数は220で昨年の11倍を上回っています。年齢階級別では、40歳代前半が最も多く、次いで30歳代前半、20歳代後半となっています。性別は男性82.7%、女性17.3%となっています。